

Q 断面図を作成するには

A1 [断面図の作成]で表示範囲を指定してビューを作成します

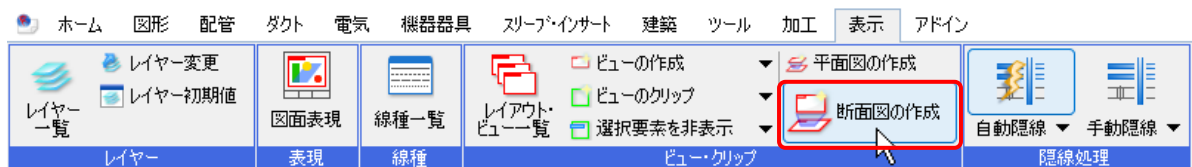
A2 [アラウンドビューからビューの作成]コマンドで作成します

A3 ビューの視点を変更します

▼A1 [断面図の作成]で表示範囲を指定してビューを開きます

1

[表示]タブ-[断面図の作成]コマンドを起動します。

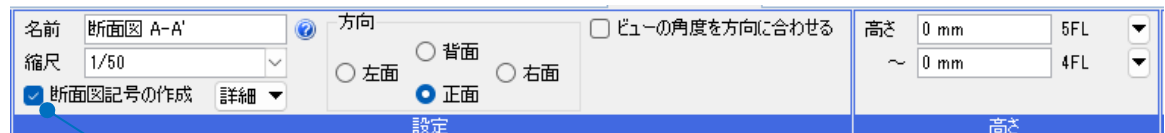


2

断面のビュー名、縮尺、方向、高さを指定します。

ビューの名前に「○-○」の形式の文字を入力した場合、断面図記号(鉤型の矢印)に○に記入した文字が表示されます。(※「○-○」以降に半角スペースをあげ文字を入力した場合、断面図記号に○に記入した文字は表示されません。)

[高さ]で表示範囲の高さを指定することができます。

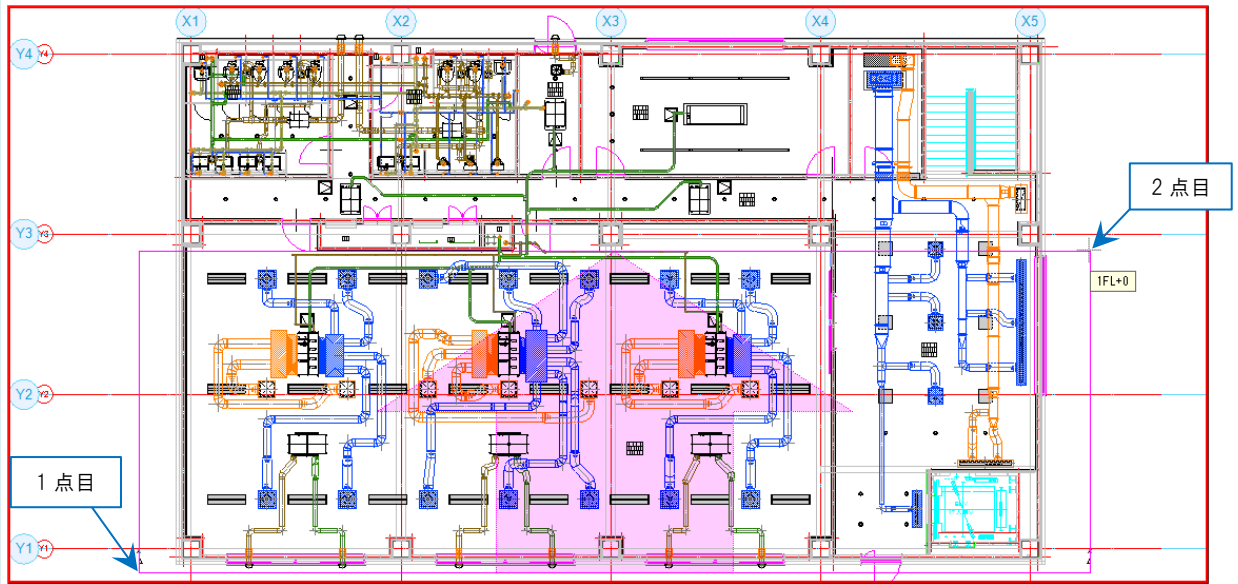


チェックを入れると断面図記号を平面図上に作図します。



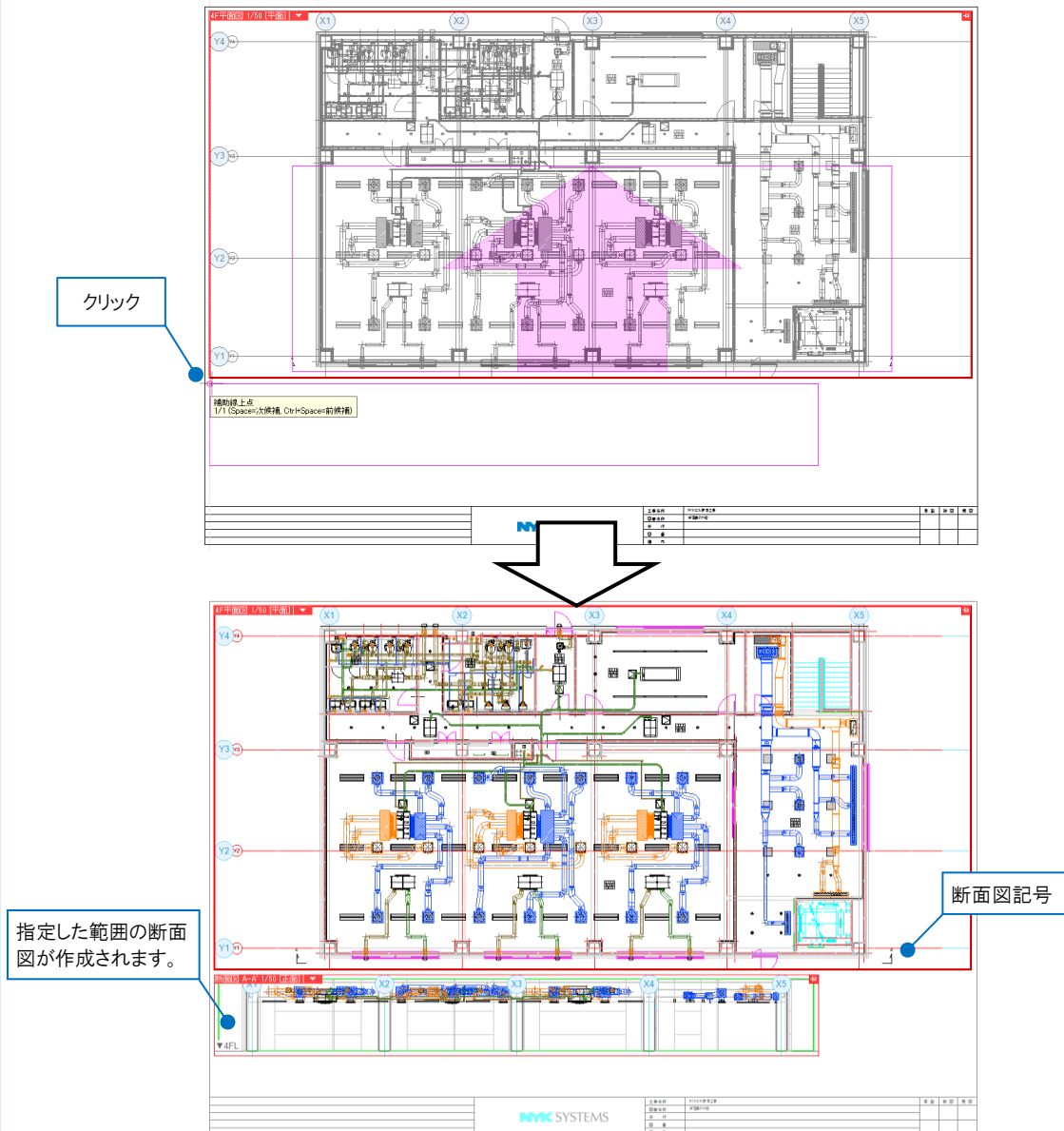
3

断面図に表示する範囲を平面図上で対角 2 点で指定します。



4

断面図を貼り付ける位置を指定します。

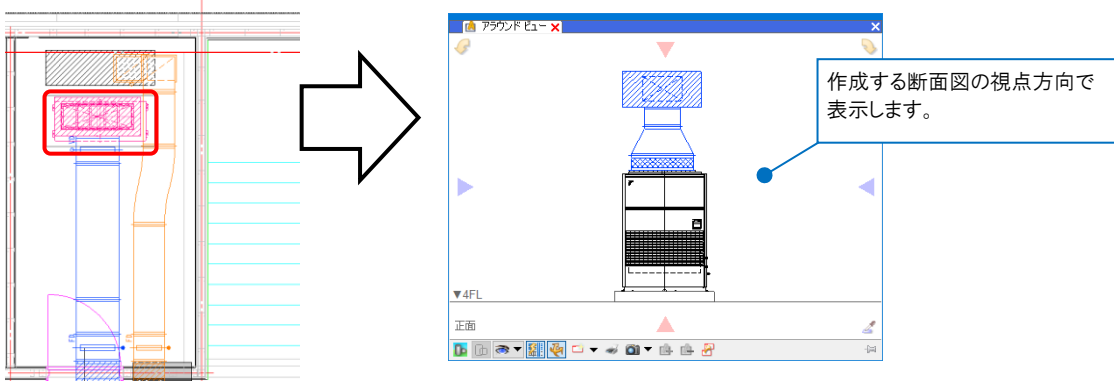


●補足説明

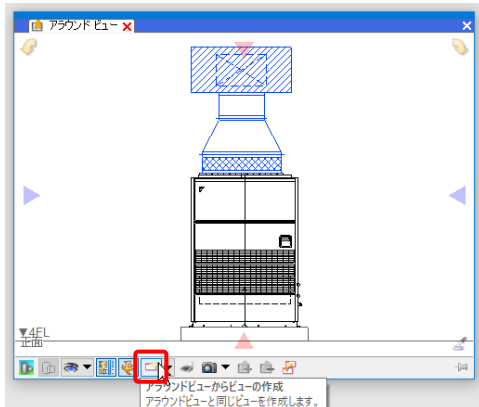
[断面図の作成]で記入した断面図記号の位置は、作成した断面ビューのクリップの範囲と連動しています。そのため、断面ビューを削除した場合は連動している断面図記号も削除されます。また、平面ビューの断面図記号をダブルクリックすると、連動した断面図のビューに表示が切り替わります。

▼A2 [ア라운드ビューからビューの作成]コマンドを使います

- 1 断面図に表示したい要素または範囲を選択し、ア라운드ビューを起動します。

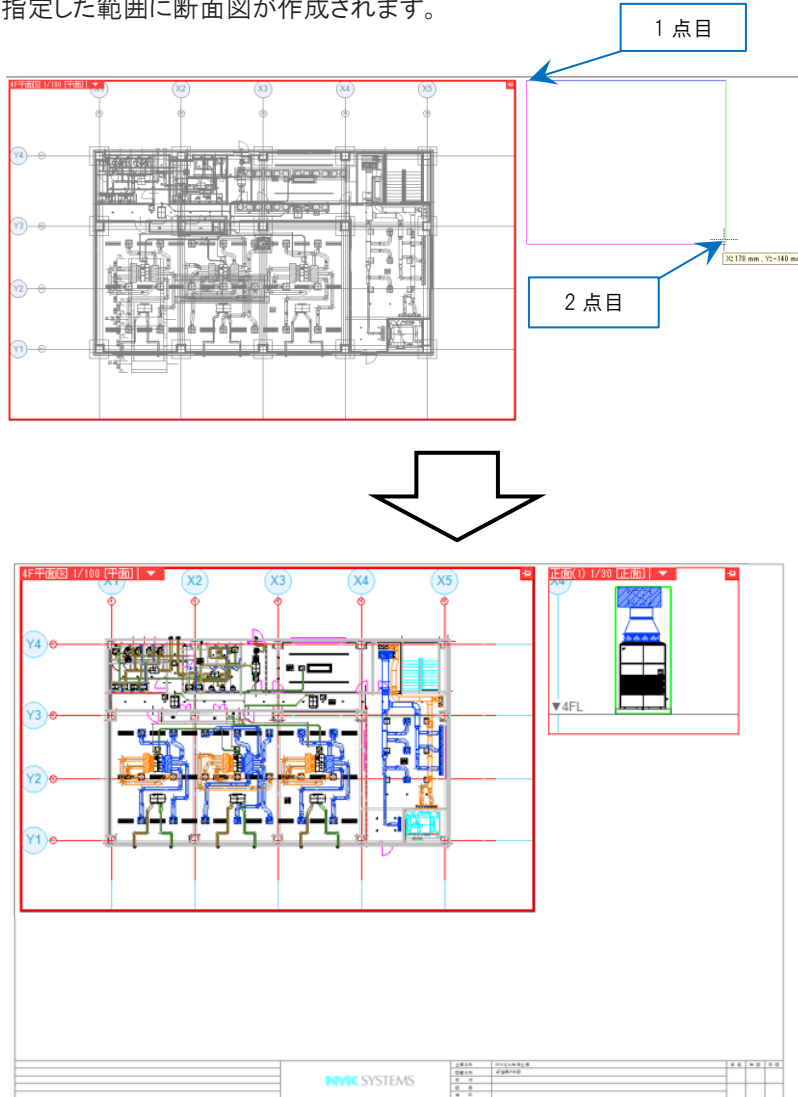


- 2 ア라운드ビューの[ア라운드ビューからビューの作成]コマンドをクリックします。



3

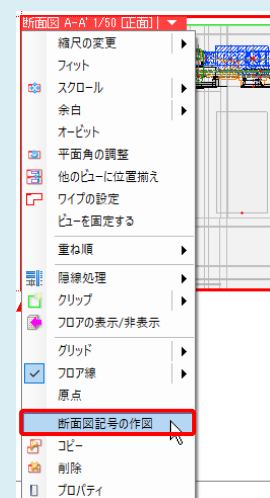
レイアウト上でビューの範囲を対角の2点で指定します。
指定した範囲に断面図が作成されます。



●補足説明

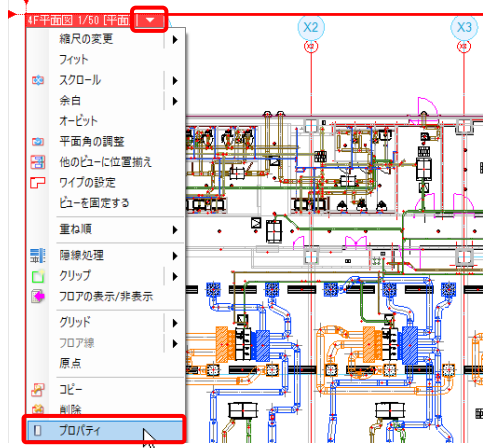
[断面図の作成]、[アラウンドビューからビューの作成]で作成したビューには、クリップが設定されます。

クリップは指定した範囲(緑の枠)内に含まれる要素を表示します。クリップが設定されている断面ビューのメニューから[断面図記号の作図]で表示範囲に合わせて断面図記号を作図することができます。



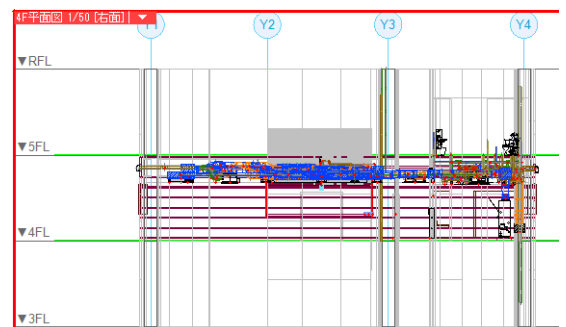
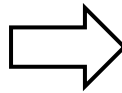
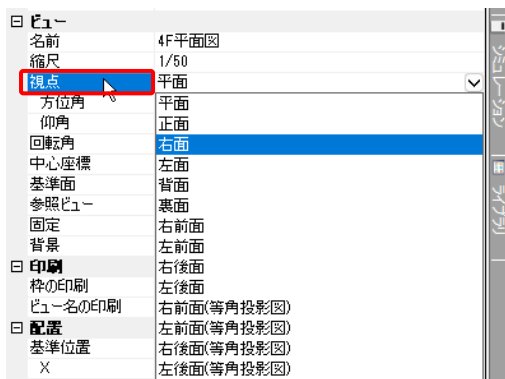
▼A3 ビューの視点を変更します

1 断面図として表示したいビューのビュー名横の[▼]から[プロパティ]をクリックします。



2

[ビュー]-[視点]で作成したい断面図の方向に合わせて視点を選択します。



●補足説明

断面図に表示する奥行きを範囲を設定した場合は、クリップを設定します。

クリップの設定については FAQ「[指定した範囲のみを表示するには](#)」をご参照ください。